



稲刈り



タンポポに手をのばす



竹のぼり



クワで畑仕事



コマの色付け



コマ回し



糸通し



木のぼり



水あそび



雑巾しぼり



布団干し

手をたくみに つかう子どもたち

現代の子どもたちの遊びは、これまで長く続いてきた日本の子どもたちの遊びとずいぶん違います。オハジキ、コマ、お手玉、ケン玉、ビー玉などは、影を潜めてしまいました。また、生活も便利な家電製品の普及により、雑巾がけや布団干しや、台所でのお手伝いが減り、家庭での役割を感じる事が少なくなってきています。「手は突き出た大脳」と言われており、手をつかうことはとても大切で子どもの発達や成長に欠かせません。

ここに掲載した写真に見られる、子どもたちの「手」を使う遊びや労働が、発達や成長の豊かさにつながっていくのです。

私たちの保育は、人間の進化の歴史が教えている「労働が人間をつくった」という事実から学び、一貫して「手」「足」「体」をつくることを日々積み重ねています。そのための環境整備や教具・教材の選択は重要であり、私たち大人の役割だと考えています。

ここでは「手をたくみにつかう子どもたち」の写真を通して、私たちの保育実践を紹介します。

私たちの園では、子どもたちがたっぷり自然と出会えるよう保育をしています。園庭開放や体験保育をしているところもたくさんありますので、ぜひ連絡してください。「手をたくみにつかう子どもたち」の写真をホームページにアップしています。右のQRコードからアクセスしてご覧ください。



柿の皮むき



ノコギリを使う



豆のすじとり



手づかみ食べ

各地域の保育カレンダーお問い合わせ先

地域	園名	住所	TEL
東北	是川こども園	青森県八戸市是川2-15	0178-96-4082
	さくらんぼ保育園	福島県いわき市鹿島町下蔵持字沢目20-1	0246-58-5616
茨城	そとの保育園	茨城県石岡市東大橋1639-2	0299-26-3508
	はなのわ保育園	茨城県ひたちなか市西光地1丁目6-3	029-273-0493
東海	編集委員長 恵の実保育園	愛知県豊川市市田町原山97、98	0533-65-9803
関西	七実の木保育園	京都府京都市下京区西七条西久保町32-11	075-323-2860

カレンダーへのご意見・ご感想は編集委員会までお寄せ下さい。

保育カレンダー だより

No.46 2025年9月
発行：保育カレンダー編集委員会
愛知県豊川市市田町原山97、98
恵の実保育園
TEL 0533-65-9803 FAX 0533-84-9777
Eメール：hoikuen.enomi@gmail.com



2026年版カレンダー

9月末
より
販売スタート

子どもたちの幸せを願って保育カレンダーも30年

— 今年も保育カレンダーの普及にご協力をお願いします —

2025年、唯の戦争被ばく国である日本は戦後80年を迎えました。その前年に、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞したことは歴史的快挙であったと同時に、日本国民みんなが戦争を振り返り、核の抑止力で本当に生命を守るのだろうか、と改めて考える機会を与えてくれました。被爆体験者と共に平和の大切さを後世に伝えていこうとする高校生平和大使などの活躍も報道され、私たちは彼らの活動に勇気をもらい、子どもたちに人権が尊重される平和な世界を残したいという思いを強くしました。

今、私たちが直面している地球温暖化による気候変動や災害、貧困や飢餓、エネルギー問題はどれも地球規模であり、戦争と同様に人類の存続を脅かすものです。様々な情報が氾濫する現代社会において、これからは子どもたちに真実を見極める力、本物を見極めようとする志向を育てることが必要ではないでしょうか。私たちの園では、小さい時から仲間とのあそびや生活の中で、様々な自然体験や伝統文化等に触れることを大切にして、子どもたちの豊かな感性を育てています。優れた五感、子どもたちの本物を見抜く目や真実を知ろうとする意欲に繋がると考えています。

すべての子どもが当たり前のように安心して仲間と遊び呆けることを願って、保育カレンダーを発行し続け30年を迎えました。これからも子どもたちの絵を通して、子どもたちに何が大切なのかを伝え続けます。保育カレンダーの普及にご理解・ご協力をお願いいたします。



2026年 保育カレンダー

2024 年度 / 卒園児の絵

1月 山の子共同保育園（和歌山県）



6歳9カ月の女の子

2月 安武保育園（福岡県）



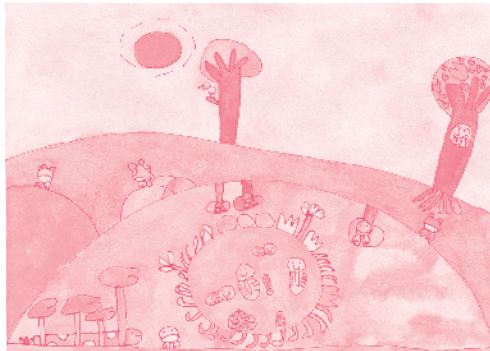
6歳8カ月の女の子

3月 くるみの木保育園（宮城県）



6歳6カ月の男の子

4月 野いちご保育園（茨城県）



6歳8カ月の女の子



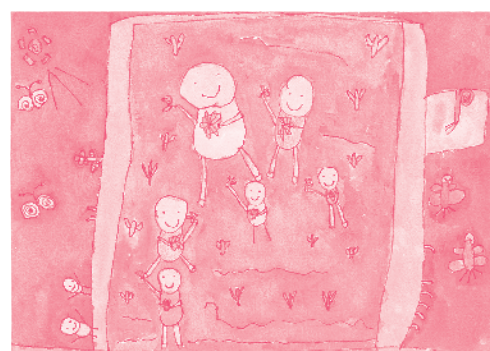
6歳8カ月の男の子

5月 こばと保育園（島根県）



6歳1カ月の男の子

6月 認定こども園たいら保育園（福井県）



6歳8カ月の女の子



7月 川登保育園（島根県）

6歳6カ月の男の子

8月 女の都こども園（長崎県）

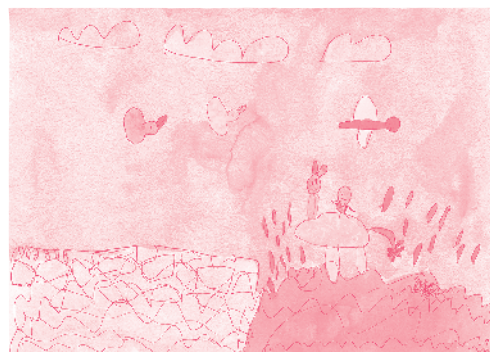


6歳5カ月の女の子

9月 足守もみの木保育園（岡山県）



6歳11カ月の女の子



6歳11カ月の女の子

10月 是川こども園（青森県）



6歳10カ月の男の子

11月 ひばり保育園（茨城県）



6歳11カ月の女の子

12月 西口保育園（千葉県）



6歳3カ月の女の子



欠かせないもの

歯科医・長崎県諫早市
増山 千絵

子どもの育ちに全くの無知であった私が、娘の入園を機にこの保育を知ることとなりました。入園した当初は、布パンツに泥遊び水遊び、靴がすぐへたってしまうお散歩三昧の日々に、お行儀よく育てようとする親心に反して殻を破っていく娘の姿に驚き、また同時に頼もしさも感じたものでした。園の様子が見えてくると、こののびのびとした環境で過ごす子どもたちの育ちに興味がわくようになりました。そんな折、園から歯科園医への打診を受け、二つ返事で引き受けることとなりました。

歯科園医になった当初から、歯科検診の度に子どもたちの口腔内写真を撮影しています。遊びの家は定員40人の小規模園ですが、毎年撮り続けているうちになかなかのビッグデータとなりました。その子の口腔内の状態や改善していく様はもちろん、それが家庭環境や保育歴などとも如実にリンクしていることが見て取れるようになり、撮影を許可してくれた園に感謝するとともに、検診に欠かせないものの一つであり、私自身にとっても非常に貴

重な学びの場となっています。

この保育カレンダーの中心にあるのは、もちろん子どもたちの描いた絵であるわけですが、保育士たち曰く「絵を見ればたいいていのことは分かっちゃう」のだそうです。「絵を見る」といっても、ただ単に上手に描けたかを見ているわけではなく、知識と理論に基づいた非常に実践的な評価であることに、門外漢の私からすると「へえー」とただ感嘆するばかりです。きっと私にとっての口腔内写真と同様に、保育士たちにとって「絵を見る」ことは、保育を行う上で欠かせないものの一つであり、子ども自身やこの保育を理解するための学びの場になっているのであらうと思います。

このカレンダーの絵を眺めながら、この絵が描けるまでに成長した子どもたちの活き活きとした姿を想像するとともに、そのそばにある、保育士たちの子どもたちへの愛情や、学びへの意欲を感じ取ることで、絵への理解がより深まるのではないのでしょうか。